

がんを防ごう

緩和ケア 医療者と意見交換

■北海道患者交流会

道内のがん患者らの連携組織、北海道がん患者連絡会(20団体)が17日、第4回北海道がん患者交流会を、北海道がんセンター(札幌)で開いた。がんの患者や家族のさまざまな苦痛やつらさを和らげる「緩和ケア」につ

いて、医療者と率直な意見を交わした。全道から患者ら約50人が集まった。この日



患者と医療者がともに緩和ケアに関する意見を交わした、第4回北海道がん患者交流会

の交流会は、北海道がん診療連携協議会緩和ケア部会との合同開催。道内の19のがん拠点病院・指定病院から、緩和ケアの基本的な知識を習得するために開いている各病院の研修会の担当医師や看護師ら計26人も参加した。

患者と医療者は五つのグループに分かれ、緩和ケアに関する意見を交換。患者は「医療者はもっと耳を傾けてほしい」「緩和ケアを受けたいと思った時に、スムーズに担当者に つないでほしい」など、これまでの経験や普段感じていることを語った。医療者は、患者それぞれの思いやニーズを聞き取っていた。

北海道がん患者連絡会の次回の交流会は、来年2月に開く予定。